

JR 東日本会社による美世志会 6 名の懲戒解雇を弾劾する声明

JR 東日本会社は直ちに懲戒解雇を撤回せよ!

美世志会 7 名は、無罪である! 8 月 30 日、JR 東日本会社は美世志会 6 名への「懲戒解雇」を発令した。理由は「会社施設内において当社員（当時）に対して行った行為が、強要罪の罪にあたるとして、東京地方裁判所において有罪判決を受けた。この行為は、職場秩序を著しく乱し、また会社の信用を著しく失墜せしめたものであり、社員として極めて不都合であるため」としている。

美世志会 6 名とその家族が、職を失う怒りと痛みははかり知れない。JR 浦和電車区事件は、えん罪事件である。7 名は何もやっていない。だから国家権力とマスコミが一体となって、事件をでっち上げたのである。344 日間の長期にわたる 7 名の勾留、法廷でのまったく自信のない当事者の証言、幾度も裁判長・裁判官が変わった不公平な裁判などの現状からすれば東京地裁の判決は不当であった。そして、正常な労働組合活動を妨害する警察権力の暴挙を認めた判決でもある。

「職場秩序を著しく乱した」とするならば、それは退職していった当事者であり JR 連合ではないか! そして、警察権力が介入し職場を乱したのではないか! 「会社の信用を著しく失墜せしめた」のも不当な家宅捜索とそれに便乗して騒ぎ立てたマスコミや、嶋田一味と週刊現代を面白おかしく利用して宣伝してきた JR 連合ではないか! これらの輩が、この事件デッチ上げの主犯である。

えん罪 JR 浦和電車区事件は、国家的大掛かりな謀略として体制に異議を申す団体と個人を排除し潰していくものであることをこの間明らかにしてきた。JR の職場において、職場での労働運動を排除し、もの言わない労働組合へと変質・破壊し、御用組合を育成する攻撃が今かけられている。最近発生している企業の、隠蔽・捏造を原因とした倒産・工場閉鎖が発生しそこで働く従業員は解雇をもされている。労働組合がチェック機能を果たさない御用組合化が、社員の雇用とその労働条件の危機を招いているのではないか! 鉄道業務は安全が命である。安全を守るため、現場を一番良く知っている会社にももの言う労働組合が今こそとめられているのだ。しかし、JR 東日本会社は JR 東海会社と同じように会社の権力をもって社員支配をはじめたのだ。

憲法 9 条が、安部政権によって改悪されようとしている。「美しい国」・再び戦争のできる国へと変えていこうとしている。私たちはこの間平和と憲法 9 条を守るためにたたかいを進めてきている。この私たちに太刀をおろしたのが JR 東日本海会社の「懲戒解雇処分」である。私たち JR 東海労にも言われなきデッチ上げ窃盗事件が発生した。これも JR 東海葛西会長を司令塔とする策謀であることはたやすく想定できる。

われわれは、一層の職場闘争の強化と、心ある人たちに呼びかけて戦線を拡大し、一切の弾圧を跳ね返していく。再び 6 名を職場に取り戻すために。

JR 東海労働組合静岡地本闘争委員会

2007年9月1日